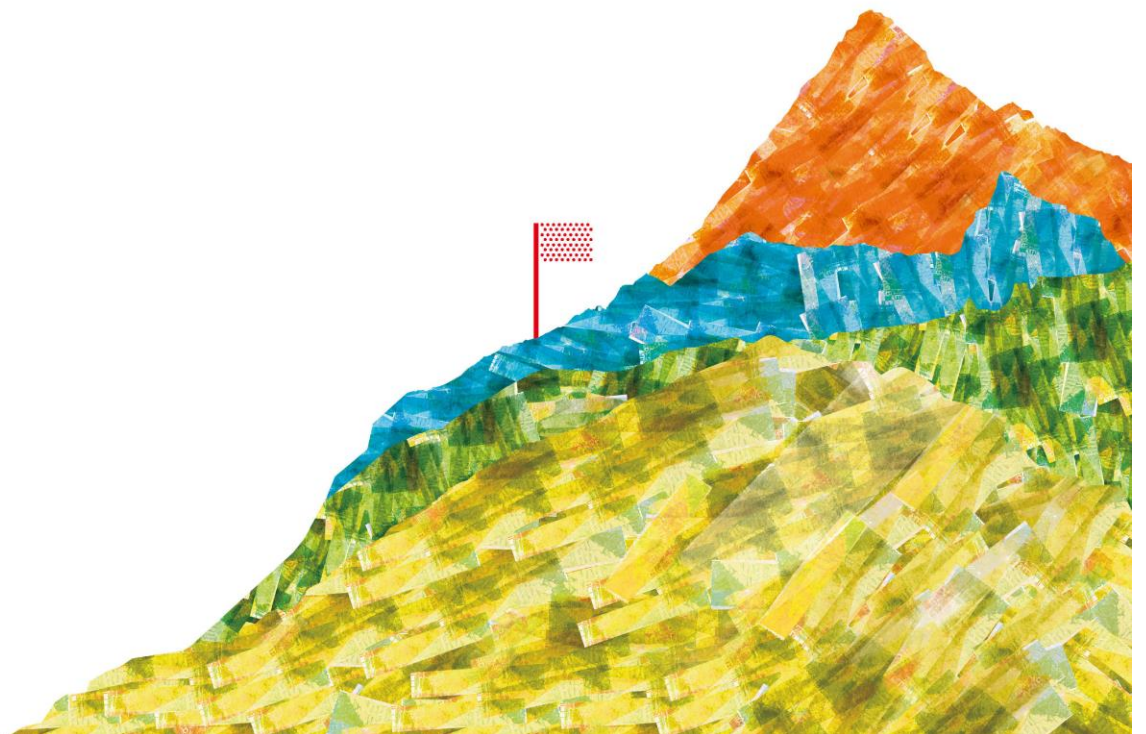


# 令和3年度 事業報告書

## (南東京エリア)



社会福祉法人 こうほうえん

鳥取県境港市誠道町 2083 番地

## 令和3年度事業報告書(南東京)

### 1 令和3年度総括(成果、反省等を簡単に)

- 1) 新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、「緊急事態宣言」や「まん延防止措置」の発令が繰り返される中でも、コロナに負けない「ウィズ・コロナ」の運営を実施することを心掛けた。自治体や事業によって対応が異なる中で、保育園、ケアホーム、グループホーム、小規模多機能、緊急ショートステイ、いきいきセンター等の事業を継続して実施した。保育園の閉園を余儀なくされることもあったが、利用者ご家族の理解・協力を得ながら、保育園利用の自粛、入居者の外出制限、家族の面会制限を状況に応じて実施して事業を継続した。
- 2) リモート会議、テレビ面談、ZOOM研修等の利用、事業所間や保育園クラス間の職員の行き来の制限、休憩・食事時間の分離を進め、対人コンタクトの密疎を工夫することで感染リスクを減らし、事業所内の感染防止に努めた。その上で、感染状況を見極めながら、季節ごとの行事やレクリエーション、地域交流や異年齢交流を実施した。  
 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で自治会等の地域の活動は中断し、地域との交流・連携が難しい状況が続いている。地域ぐるみでコロナ対応の理解を深め、事業所が地域に必要な資源として住民に認知されるよう“つながり”を大切に活動と、創意工夫による実施が次年度の課題となる。
- 3) 職員研修はリモート研修を主体として実施し、内部研修を充実させるなどして、コロナ禍においても一定の成果を得ることができた。年度末に行われた法人研究発表会には2年ぶりに実際に会場にて参加することができた。

### 2 トピックス(新規事業、重点実施事業等(独自で実施している地域貢献活動含む))

- 1) 前年度に続き、本年度も東京地区においてユマニチュードの推進に取り組み、「ケアホーム西大井」が中心的な役割を果たして活動を進めた。6月から1月の期間は、毎週、東京の各事業所のユマニチュード推進者が ZOOM を繋いだ研修を実施して法人全体で学びを深めた。研修後のアンケートで疑問や質問、感想を募り、『ユマ研便り』という活動便りを毎月作成して啓発活動に繋げた。  
 また、ユマニチュード推進のための月間目標を策定し、職員がユマニチュードを日々意識し、実践できる環境づくりに取り組んだ。事業所内においては、推進者だけでなく、他職員もインストラクターが主催するユマニチュード基礎研修 1・2 を受講し、ユマニチュードの哲学と技術について学んだ。ユマニチュードの活動報告として、ユマニチュード学会大会、品川介護従事者実践研究発表会、法人研究発表会において発表を行い、品川介護従事者実践研究発表会では審査員特別賞を受賞した。次年度においては、ユマニチュード認証施設の取得を計画している。  
 また、西大井で行っている口腔ケア技術のレベル認定研修を継続して実施し、これまでの成果を法人研究発表会で発表した。
- 2) 江東区の新砂保育園・地域密着型介護施設の指定管理が2期10年の満了を迎えるに当たり、3期目に向けて、指定管理者の再指定申請を行い、令和3年10月28日付で3期目の認定を受けた。指定期間は、新たに令和4年4月1日から令和9年3月31日までの5年間となる。
- 3) 介護保険制度の報酬改定に伴い、提供サービスを見直し、新規加算の取得に努めた。「グループホーム新砂」においては、砂町訪問看護ステーションと業務委託契約を締結して、新たに医療連携加算を取得した。医療・看護との提携を強化し、お互いに医師との連携を取りつつ、健康の保持、

急変時や看取りに備えることで、地域資源を生かした包括的なケアの一助とした。

- 4) 小規模多機能型居宅介護「多機能ホーム新砂」において、令和3年4月より、短期利用居宅介護事業を開始した。コロナ禍の中で、実際の利用に結びつける難しさはあったが、シルバーステイ(緊急ショートステイ)との連携で、年間5名(延べ24日間)のサービス利用があった。
- 5) 南海トラフによる大地震発生に備え、西大井の各町会や品川区防災課と連携し、避難所の運営手順、災害情報の周知、備蓄品の確認、負傷者の搬送などのマニュアルの整備などを前年度に続けて行い、南海トラフによる大地震発生を想定した防災訓練を西大井において協同で実施した。

### 3 エリア目標の達成度合とその評価(戦略会議の資料等)

#### 1) こうほうえん地域ブランドとして評価認知される施設となる

広報誌の記事内容の充実やホームページに最新情報をアップすることで、地域への発信を積極的に行い、周知に努めている。

求職者や実習生、見学者は事業所認知の指標として、全ての希望者を受け入れているが、法人の行う介護や保育、ユマニチュードへの取り組みに興味を持ち訪れる方が増えている。実習受入れはこれまで多くの実績があったが、新型コロナウイルス感染症の影響で受入数が減少している。

新砂事業所においては、地域包括ケアに向けた強みとして「保育と介護」サービスを併せて提供するモデルの構築に取り組み、福祉の総合窓口として砂町圏域内の組織と繋がり、全世代型サービス提供体制を構築(連携、提携)することを目指した。コロナ禍で積極的な取り組みが難しい中、寿康会病院(訪問看護)との医療連携、シルバーステイと小規模多機能の連携(短期入所介護)が行えた。

#### 2) 職員確保と採用を安定させる人財育成の仕組みができています

ケアホーム西大井におけるユマニチュードの取り組みが認知され、関心を持つ入職希望が増えており、特色ある介護や保育の実践が求職希望者の増加に繋がっている。新卒の求職者には、東京事業本部が中心となり、来場とWEB会議システムを併用した説明会を実施するなどの手厚い対応をとることで人財確保に繋がっている。

職員には各種の研修を実施して、介護・保育共に人財育成を計っている。エリア(東京・新砂)研修、法人研修、外部研修などで学ぶ機会を確保し、研修項目74件、延人数314名が受講する。現場での丁寧な指導と研修による自己研鑽を可能とするプログラムが仕事や事業所への愛着を醸成し、離職者の減少に寄与している。

新入職員のみならず、教育係となる職員の成長を図ることも目的として、令和4年度にエルダーとなる職員へ研修を実施する。

#### 3) ムリ、ムダ、ムラをなくし、業務効率の改善が進んでいる

「5S運動」を継続して実施し、職員一人ひとりが「5S」を理解し、自ら行動できるようにしている。

勤務時間の変更、フレックスタイム制の活用が職員の負担軽減(残業時間の削減)に繋がった。

事業所間、職種間で業務の見直しに着手し、看護記録を紙媒体から介護ソフトの入力に変更、調理済食材を効果的に使用することで業務の効率化を図った。

今後は介護の省力化機器の導入を促進し、更なる業務の効率化を図る。

4 入所系事業所(デイハウスは登録人数)の稼働率の推移(稼働率:小数点第1位)

事業所名	定員(人)	令和3年度(%)	令和2年度(%)	令和元年度(%)
ケアホーム西大井	48	96.3	96.0	95.6
多機能ホーム新砂	29	81.0	84.2	90.2
グループホーム新砂	9	100.0	99.7	97.3
シルバーステイ	4	79.0	68.2	79.1

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	<p>○餅つき ○誕生会 ○ピアノコンサート ○新春コンサート ○お菓子づくり ○パウンドケーキ作り ○お汁粉づくり ○お好み焼きづくり ○釜めしの会 ○野外園庭薪炊飯 ○節分豆まき ○ひまわりカフェ(入居者及び家族のみ) ○銀色茶房(利用者のみ) ○グラウンド・ゴルフ大会(縮小開催) ○敬老会・長寿のお祝いの会 ○フラワーアレンジメント ○自治会一斉清掃 ○レク・外出(公園)行事 ○行事食提供 ○運動会 ○防災訓練(毎月又は年2回)</p> <p>○保育園内行事:夏祭り、夕涼み会、敬老会・敬老の日の集い(ビデオレター発信、手作りプレゼント)、スポーツデー(クラス毎の完全入替制)、遠足、ハローウィン、お店屋さんごっこ、クリスマス会、餅つき、新年子ども会、生活発表会、就学祝い会、交通安全指導、お別れ会 (※新型コロナウイルス感染症対策のため、交流を中止して施設内で実施、保育園では保護者の参加数を制限し、園内のみで実施した。)</p>
エリア内研修状況	<p>○ユマニチュード ○バーセルインデックス ○身体拘束・虐待防止 ○看取りケア ○太陽化学サンファイバー ○口腔ケア(ブロンズ・シルバー)研修 ○リスクマネジメント(報告書の書き方) ○救急法(AED、心肺蘇生) ○光洋おむつ ○地域資源 ○介護技術 ○東京都高齢者虐待防止 ○江東区高齢者権利擁護 ○防災機器操作 ○介護福祉士実習指導者講習 ○ユマニチュード(外部) ○コミュニケーション実践</p> <p>(※職員配置の都合で受講者数が限られ研修は、研修後に他職員への伝達研修、実施状況等の確認を行った。)</p>
エリア内会議、委員会活動	<p>○南東京エリア調整会議 ○介護3事業所会議(新砂)○全体会議(西大井) リーダー会議(新砂)○ケアホーム事務所会議(西大井) ○運営推進会議(新砂、隔月または書面報告) ○品川区避難所会議(約3ヵ月に1回開催) ○東京地区研修委員会 ○労働安全衛生委員会 ○環境・レク委員会 ○広報委員会 ○給食会議 ○身体拘束廃止会議(3ヵ月毎) ○排泄・褥瘡委員会 ○ISO委員会 ○リスクマネ</p>

	<p>ジメント委員会 ○口腔ケア推進委員会 ○ユマニチュード推進委員会</p> <p>(※特に明記の無い会議は月1回の開催)</p>
委員会活動等の成果・実績・反省	<p>○運営推進会議(新砂、隔月開催予定)はコロナ感染状況により中止となることも多かったが、書面報告を行い、委員の意見・助言を伝えて貰う取り組みを行った。</p> <p>運営推進会議、苦情解決第三者委員会などの会議において、地域で困っていること、状況などについて確認し、具体的な取り組みについて検討が必要である。</p> <p>○銀色茶房(認知症カフェ)、夏祭りなど、地域の方と一緒に進めていた活動について再開する方向で進めていく。</p> <p>○コロナ禍による、介護と保育の交流事業が難しい状況において、保育園児の活動や様子をタブレットで視聴できるように各事業所のタブレットにアプリを取得して動画視聴する。</p> <p>○0 レベル報告(事故が起こりそうな環境に前もって気づいた)が増えた。事故、ご意見等について分析・検討し、再発防止を図ることが出来た。</p>

6 人財状況

外部研修等講師派遣実績	なし
外部役職就任状況	<p>○NPOシルバー総合研究所 理事 (田中とも江施設長)</p> <p>○千葉県 身体拘束・排泄ケア現地指導員 (拘束廃止研究所へ委嘱) (田中とも江施設長)</p> <p>○静岡県立大学 認知症アシストフォーラム (田中とも江施設長)</p> <p>○福島県虐待防止ネットワーク連携会議委員 (田中とも江施設長)</p> <p>○ジネスト・マレスコッティ研究所日本支部 名誉会長(田中とも江施設長)</p>
外部表彰受賞状況	<p>○品川福祉保健従事者実践・研究発表会(品川介護福祉専門学校主催、令和4年2月4日リモート録画参加)において、審査員特別賞(奨励賞)を受賞する。</p> <p>○第11回AJCC(オールジャパンケアコンテスト)の食事部門に応募し、ビデオ審査にて優秀賞を受賞する。</p>

7 地域貢献実績(保育所含む)

実習受け入れ実績 延人数 413人	<p>○武蔵野大学別科 ○東京福祉専門学校 ○東洋大学社会福祉学部</p> <p>○帝京科学大学医療科学部看護学科 ○品川介護福祉専門学校</p> <p>○蒲田専門学校 ○東京 YMCA 保育専門学校 ○道灌山保育専門学校</p> <p>○愛国学園保育専門学校 ○東京福祉大学 ○星美学園短期大学</p>
----------------------	--

	○玉川聖学院高等部 ○十文字高等学校 ○江東区第二砂町中学校
ボランティア受け入れ実績 延人数 44 人	○レクリエーション（楽器演奏、フラワーアレンジメント） ○催しの手伝い ○園児の保育手伝い ○楽器演奏指導
見学受け入れ実績 実人数 191 人	○施設（介護・保育）利用希望者
地域交流活動実績 実施回数 2 回 延人数 32 人	○新砂長寿サポートセンター、新砂利用者と音楽会 ○伊藤学園CDでの鑑賞交流
ボランティア・環境活動参加実績 延人数 36 人	○新砂三丁目アパート自治会一斉清掃活動 ○保育士による「順天堂広場(公園)」のゴミ拾い(新砂、毎月 1 回)
地域発信活動実績 (認知症サポーター養成講座)	なし
地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催及び参加等)	なし